



いまいは今  
vol.174

発行 今井町並み保存会  
発行日 平成26年12月1日  
電話 0744-22-1128  
http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/  
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp

◇ご意見・ご感想は  
今まちづくりセンターまで

## 全国町並みゼミ報告①

全国町並みゼミが11月7日から9日まで佐賀県鹿島、嬉野で開催されました。今号から3回に分けて報告します。第1回目は工藤からの報告です。

開会式が行われた肥前浜宿は現在も営業されている酒蔵を中心に町並みが構成されており、浜川の海運で栄えた風情が今なお残っていました。

参加した第4分科会では「歴史遺産を次世代へ繋ぐ」をテーマに事例発表が行われました。

まずは地元の浜小小学校の児童35名による発表「浜のがばいよかとこ」がありました。これは自分たちが暮らしている町の良い所を探すと、フィールドワークを授業に取り入れた成果の一部です。

その中で子どもたちは酒蔵の建築構造の特徴を学んだり、建物を守るための消火施設を探したりしていました。



また身近な有明海や浜川に生息するムツゴロウやズグロカモメなどに扮したユーマラスな寸劇では笑いを誘うとともに環境を守らなければならぬというメッセージが強く込められていました。

また地域の有名人とも積極的に交流を持たれており、今回は74歳の板金職人の方を訪問し、実際に金属板からクワガタムシやカブトムシを子どもたちと一緒に製作していく過程が発表されました。

最後にフィールドワークをきっかけに8年前に作られた「浜が大好き」という歌を全員で歌いました。

続いて、長崎街道と川港の海運で栄えた塩田津から塩田小小学校の児童20名から「塩田津の昔・今・そして未来へ」と題した発表がありました。塩田は長崎街道沿いに居蔵造りと呼ばれる大型町屋が残っており観光に力を入れておられ、発表にもそのことが反映されていました。

まずは食の部分では、シュガーロードとも呼ばれる長崎街道沿いのお菓子で、長崎カステラ、福岡千鳥饅頭と並んで塩田津の「逸口香」と「金花糖」をPR。それから産業とし

ては塩田で三百年の歴史がある「鍋野和紙」を使った卒業証書を紹介されました。

地域との交流では蔵を使って音楽発表会を開催したり、学年ごとに総合学習での成果を発表したり展示を行う「よかとこ祭り」を町屋で開催している事例が発表されました。

また小学生が町案内をするガイドの養成に取り組みれているのが印象的でした。



塩田津をPRするために子どもたちが考えたイメージキャラクター「いぐらっこう」居蔵造り+逸口香（頭の○）

この分科会では、地域で活躍している方を訪問し、学ぶことも大切ですが、子どもたちがそのことを発表するという機会（場所）を設けることで地域としてのつながりがより深まると感じました。

## 平群北小学校社会科見学

10月31日平群北小学校の児童80名が今井町を見学しました。昼食場所の旧米谷家ではかまどでお湯を沸かし、大和茶を味わっていただきました。

## まち歩き勉強会報告 旧米谷家

9月に旧米谷家で開催した勉強会ではボランティアの森本さんにお話を伺いました。

旧米谷家は昭和47年5月15日に重要文化財に指定されています。解体修理は昭和49年から50年頃まで行われています。

現状維持し、次の世代に渡すということもあり、管理には注意を払うように言われ、観光客・見学者の方々にも協力していただいております。まず敷居にのぼらないこと。それから主屋・蔵前座敷・厨子二階ですね、丁稚部屋になりますけれど、のぼらないということです。竈は見ていただいて、ふたを開けて経験していただいております。なぜかといいますが、この重さですね、ふたの重さを経験してもらおうということだと思います。希望者には井戸の水を汲んでいただいております。ひも



を落とさないように気をつけてしております。基本的には触るものはありません。特に壁は大切にするように言われております。注意点ですけれども敷居にのぼらないということについて説明しております。この家の

ご主人の頭を踏むのと同じことで、そこから家を大切にするという気持ちを持っていただきます、ということの説明させていただきました。

かまどの見方ですけれども、かまどの焚き口の方なんですけれども依然修理してもらったことがありますので、靴の先が当たってちょっと崩れかけることがありますので、ふたを開けてもらうときは焚き口とは反対の方からふたを開けるように注意しております。子どもさんですけれども登ったりすることがあるので、それもしっかりと注意させてもらっています。その時には一応「丁寧にさわってください」と声をかけています。いろんな方がいらっしゃいますけれども、特に写真教室の方がグループとかで来られたら大変で、ここに住んでないもので自由に撮影されます。柱にカメラを当てたり、かまどに脚を掛けたりする人がいますので注意が必要だと思います。そのときにはまず「重要文化財の見学マナー」のチラシを渡すようにしております。撮影時間も長いので、冬の寒さや、夏の暑さはちょっと大変です。

家の説明になりますけれども、当家は1750年頃の建物で米忠の名で代々金物商や肥料商を営んでいました。5代目忠五郎の時には東の方の家ですね、これと前に長屋があったんですが、現在は駐車場になってます。そのとき大規模な普請を行っていて、現在に至っております。昭和31年に家屋だけが国に物

納されています。

特徴ですけれども、ここ入っていたらたわわりますが、土間が広いです。それから天井が竹でできている。實の子天井といいます。それからかまどの上には煙り返しがついています。他の家にはついてないと思います。(つづく)

## いまい往来

12月13日(土) 近江八幡市来町見学

28日(日) 30日(火)

年末警戒・夜回り

31日(水) 大祓式・除夜祭り

12月25日(木) 1月5日(月)

年末年始休館

今井町づくりセンター

今井まちや館・旧米谷家

## 編集後記

いよいよ師走。もともと「寺内町今井」と言われる町。それぞれのお寺「稱念寺・順明寺・西光寺・蓮妙寺」では大晦日23時30分より除夜の鐘撞きをされ、一年を締括っていただきます。宗派の儀式で、蓮妙寺さんでは水行をされてから始められると初めて知りました。また、稱念寺さんでは例年通り甘酒・おもち(数に限りがあります)の振る舞いもされます。いろんなことがあった一年。心新たに新年を迎えるため、年越しのお詣りもいいかも・・・